

IPカメラ クイックスタートガイド

同梱品

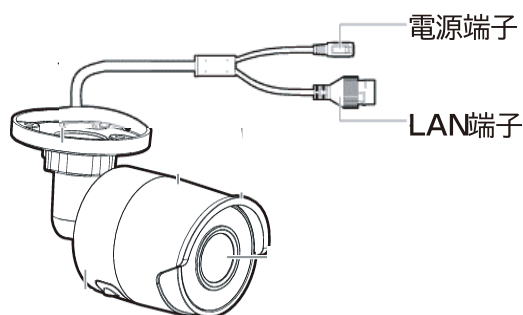
パッケージには下記の本体・付属品が同梱されています。

- ① 本体 × 1台
- ② クイックスタートガイド × 1
- ③ カメラ取付ネジ(φ4×25mm)・プラスチックアンカー× 1式
- ④ LANコネクタ防水キット × 1式
- ⑤ ドリルテンプレート × 1枚
- ⑥ L字レンチ × 1個※

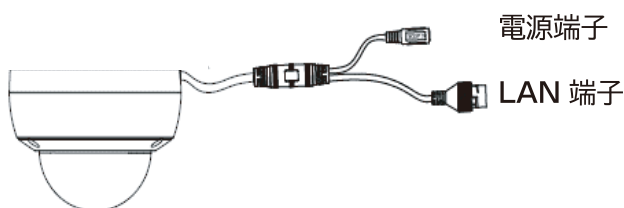
※) 同梱されていない場合は、十字ドライバーで取り外せます。

各部の名称

バレット型



ドーム型

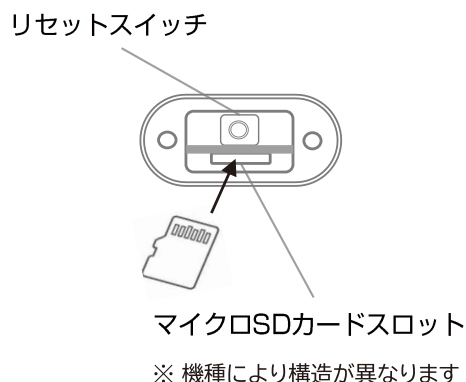
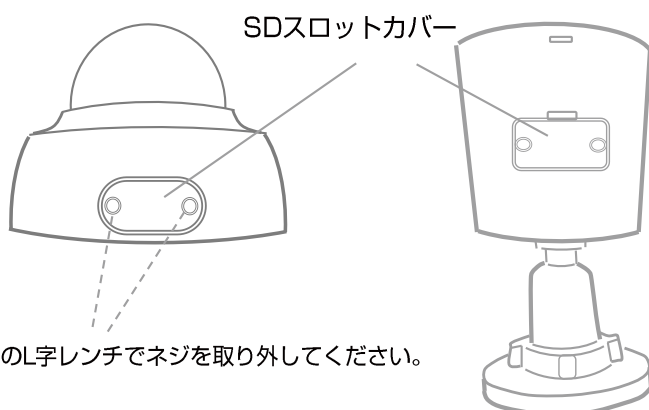


PoE給電されない場合は、電源端子 (φ5.5×2.1mmプラグ) より、別売のACアダプタを使用ください。

マイクロ SD カードスロット、リセットボタン

マイクロ SD カードスロット及びリセットボタンは、本体のカバーを外した内部に搭載されています。もしくは、カメラケースを外した内部に搭載されています※。

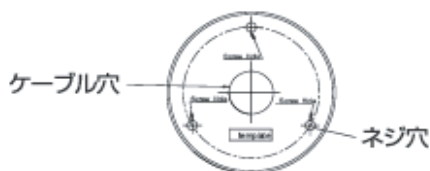
※) 一部の機種は、SDカードスロット及びリセットスイッチは搭載されていません。



設置の方法

壁面と天井のどちらにでも取り付けできます。

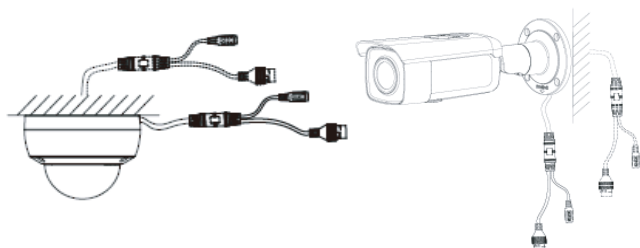
1. 同梱のドリルテンプレートに従い、ドリルで天井にネジ穴を開けます。必要に応じてケーブル穴を取付ブラケットの外側に開けます※注



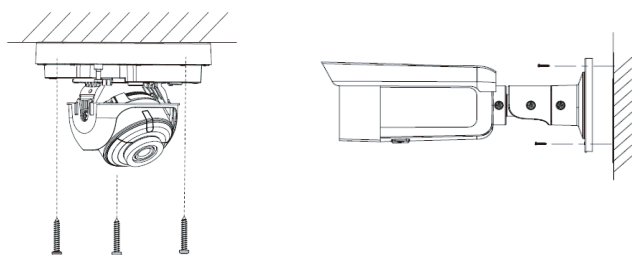
付属のアンカーを使う際は、5.5mmのドリルでネジ穴を開けてください。

※注) 接続ケーブルを設置面に通さない場合、ケーブル穴を開ける必要はありません

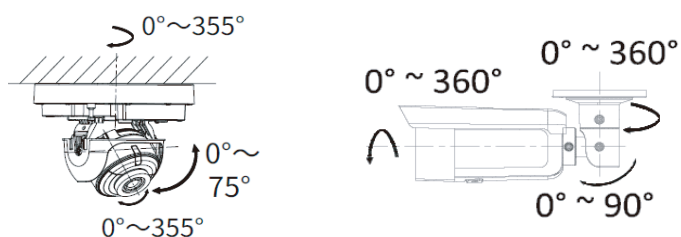
2. ケーブルをケーブル穴または、筐体の逃げ穴に通します。



3. 同梱の取付ネジでカメラを設置面に固定します。

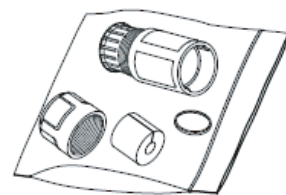


4. カメラの映像を確認し、最適な角度に合わせます。

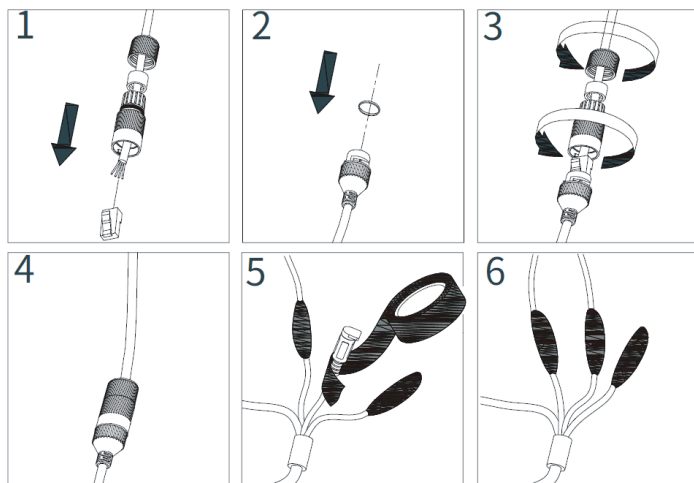


※機種により調整角度範囲は異なります。

屋外配線する場合は、付属のLANコネクタ防水キットを使用して、LAN端子の防水対策を施して下さい。



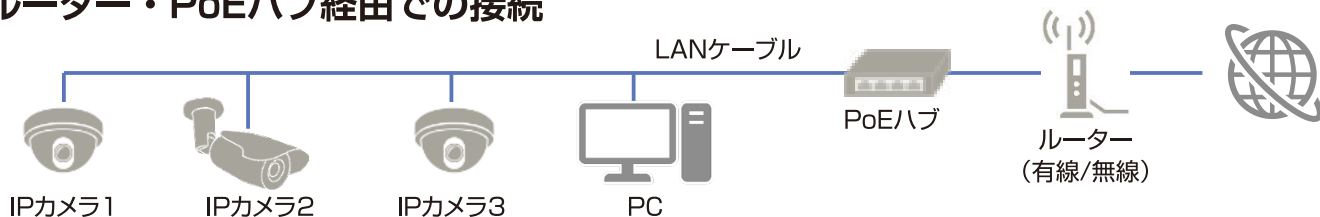
1. 接続するLANケーブルにプラグカバー、防水リング、固定カバーを通します。(RJ45端子が通らない場合は、ケーブルを通した後、端子を取り付けて下さい。)
2. カメラのLAN端子側にO-リングを取り付けます。
3. LAN端子を接続の後にプラグカバー、固定カバーを締め付けます。
4. O-リングを挟み、カチッと固定するまで締めます。
5. LAN端子中継部、電源端子、その他接続部を防水テープ等で、しっかりと巻きつけ防水処理をします。



接続の方法

IPカメラの設置・接続をするには以下のような方法があります。

■ ルーター・PoEハブ経由での接続

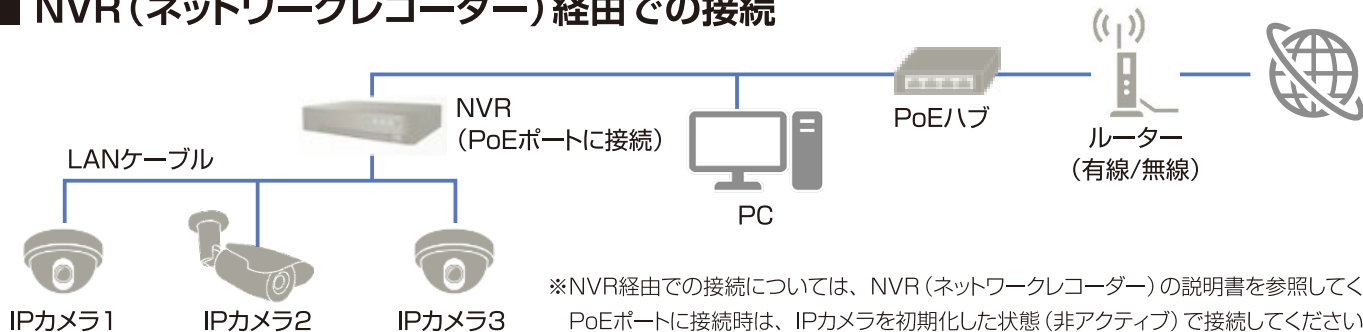


PoE給電しない場合は、IPカメラそれぞれにACアダプタで電源を供給してください。

■ PCに直接での接続



■ NVR（ネットワークレコーダー）経由での接続



※NVR経由での接続については、NVR（ネットワークレコーダー）の説明書を参照してください。
PoEポートに接続時は、IPカメラを初期化した状態（非アクティブ）で接続してください。

IPカメラのネットワーク接続

ユーザーアカウントとデータのセキュリティとプライバシーを保護するために、ネットワーク経由でIPカメラにアクセス時に、IPカメラをアクティブ化するためのログインパスワードを設定する必要があります（初回、起動時のみ必要となります）。

アクティブ化するには、WebブラウザやSADPツール、クライアントソフトウェア経由のアクティベートに対応していますが、ここでは、設定が容易な**SADPツール**を用いて設定をします。

■ SADPツールのインストール

以下のウェブサイトより、ダウンロードし、PCにインストールしてください。

<https://www.hikvision.com/jp/support/tools/hitools/>

見つからない場合は、“**SADPツール**”と検索し、ダウンロードしてください。



設定PCのIPアドレス設定

1. IPカメラをネットワークケーブルで、ネットワークまたはPCに直接接続します。
2. カメラのIPアドレスの初期値は“192.168.1.64”ですので、PCを同じネットワークに接続する必要があります。ここでは、Windows11の設定方法を説明します。
※その他のバージョン・OS の設定変更はご自身でお調べをお願いします。
3. スタート ⇒ 設定 ⇒ ナビゲーション ⇒ ネットワークとインターネット ⇒ イーサネット ⇒ IP割り当て を開きます。



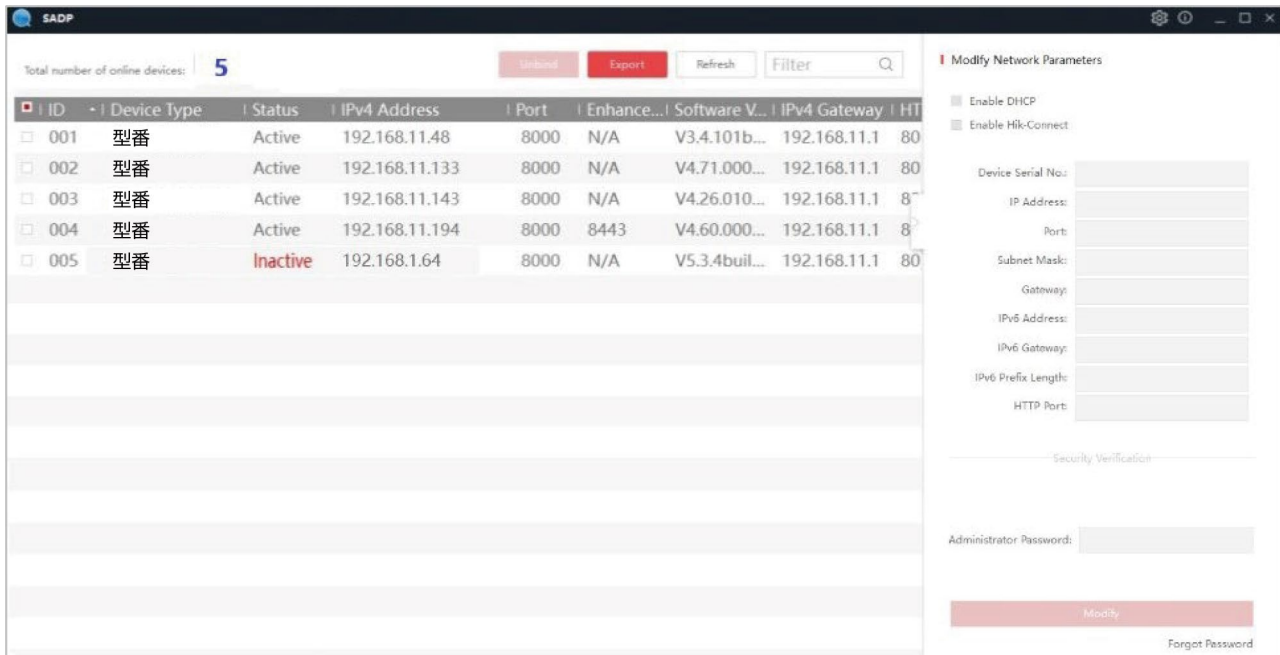
4. IP設定の編集画面になりますので、手動 を選択し、IPv4のスイッチをONにします。
手動設定画面になりますので、IPアドレスなど必要項目を設定し、保存します。



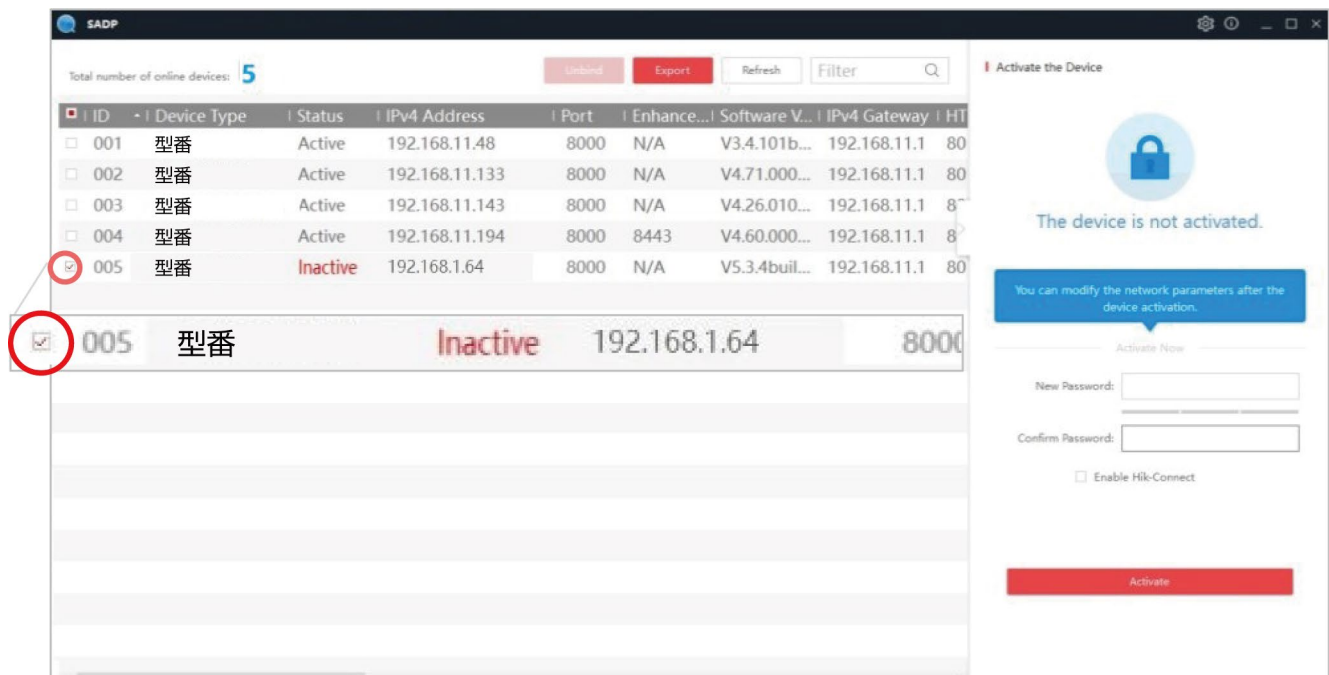
IPカメラのアクティベート設定

SADPツールでパスワードを設定して、アクティベート(有効化)を行います。

1. IPカメラを、ネットワークケーブルでネットワークに接続します。
2. 同じネットワーク※に接続されているPCからSADPツールを実行し、ネットワーク上のデバイスを検索します。ネットワークに接続されているデバイスが表示されます。
※) カメラのIPアドレスの初期値は、“192.168.1.64”ですので、PCを“192.168.1.※” ※=64以外に設定してください。



3. **Inactive** とが表示されているデバイスを選択し、リスト左端の ☐ をチェックします。



4. 右側にパスワードを設定する画面がでますので、パスワードを設定します。
確認用のパスワードを入力し、**Active** をクリックします。



お使いの製品のセキュリティ向上のため、ご自身で選択した強力なパスワード(最低8文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含むもの)を作成することを強く推奨します。

そして、定期的にパスワードをリセットすることをお勧めします。特に高いセキュリティシステムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

The screenshot shows the SADP software interface. On the left, a table lists devices with columns: ID, Device Type, Status, IP Address, Port, Enhance..., Software V..., and IP Gateway. Device 005 is highlighted. On the right, a pop-up window titled 'Activate the Device' is shown. It contains a lock icon, the text 'The device is not activated.', and a message: 'You can modify the network parameters after the device activation.' Below this is a 'New Password' field with a strength indicator (Weak), a 'Confirm Password' field, and an 'Enable Hik-Connect' checkbox. A red circle highlights the 'Activate' button at the bottom.

パスワードの入力

パスワードの再入力

ポップアップウィンドウでアクティベーションが、完了したかを確認することができます。アクティベーションが失敗した場合、パスワードが要件に適合していることを確認して、再試行してください。

5. **Active** を実行すると“セキュリティ保護用の質問”がポップアップします。パスワードを忘れた場合の回復手段ですので、質問を選択し、回答を入力してください。

※後で設定する場合は、**Cancel** をクリックしてください。

キャンセルした場合は、ブラウザの以下メニューで設定可能です。

Configuration → System → User Management
→ **Account Security Settings**

The screenshot shows a 'Security Question' pop-up window. It has a title bar 'Export Card File/Set Question/Revised (encl)'. The 'Mode' is set to 'Security Que...'. It contains three questions with corresponding answer fields: '1. Your father's name.', '2. Your mother's name.', and '3. The name of your ...'. At the bottom, there are 'Confirm' and 'Cancel' buttons.

6. アクティベートが完了すると ステータス表示が **Active** に変わります。

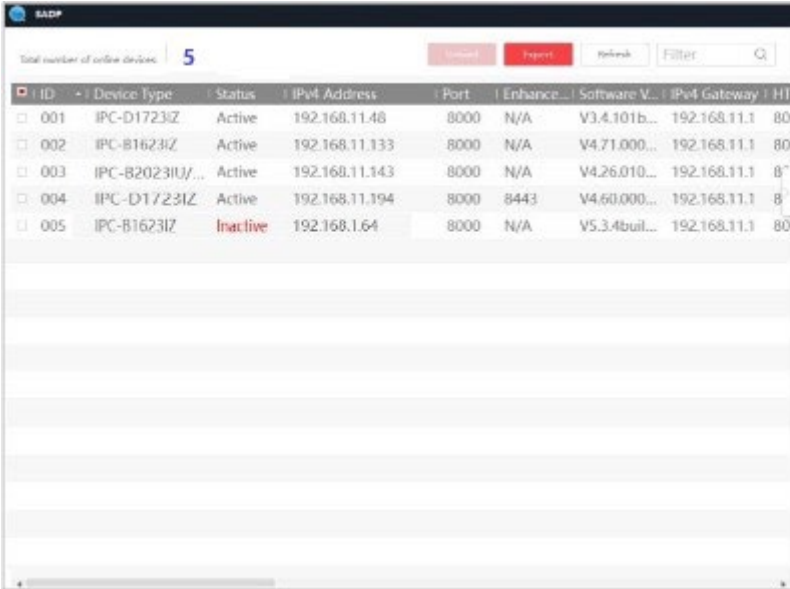
☐	005	IPC-B1623IZ	Active	192.168.11.168	8000	N/A	V5.7.3buil...
--------------------------	-----	-------------	--------	----------------	------	-----	---------------

7. IPカメラの左側を ☒ し、Modify Network Parameters でIPアドレスを設定します。

IPカメラのIPアドレスをご使用のPCと同じサブネットにする必要があり、手動で変更するか自動的に取得する場合は、☐ Enable DHCP を チェック ☒ します。

パスワードを入力し、**Modify** をクリックし確定します。

Refresh をクリックし、リストを更新すると付与されたIPアドレスが表示されます。



IPカメラのデフォルトIPアドレスは、192.168.1.64です。
ここでは、192.168.11.** に変更します。



IPカメラへのアクセス

IPカメラの画像の閲覧・設定などアクセスするには、Webブラウザを介して、IPカメラにログインします。一部のオペレーションシステムおよびWebブラウザでは、カメラ機能の表示や操作が制限される場合があります。プラグインをインストールするか、特定の設定を完了して、通常が表示と動作を確認する必要があります。

オペレーティングシステム	Webブラウザ	操作
Windows	● Internet Explorer 8以降	ポップアッププロンプトに従って、プラグインのインストールを完了します。
	● Google Chrome 57以降 ● Mozilla Firefox 52以降	 Download Plug-in をクリックして、プラグインをダウンロードおよびインストールします。
Mac OS	● Google Chrome 57以降 ● Mozilla Firefox 52以降 ● Mac Safari 16以降	プラグインのインストールは必要ありません。 [設定]→[ネットワーク]→[詳細設定]→[ネットワークサービス]と移動して、WebSocketまたはWebsocketを有効化して標準表示にします。特定の機能で表示や操作が制限されています。 たとえば、再生および画像が使用できません。

1. Webブラウザを介してデバイスにログインします。
ブラウザのアドレスバーに、カメラのIPアドレスを入力し、エンターキーを押します。

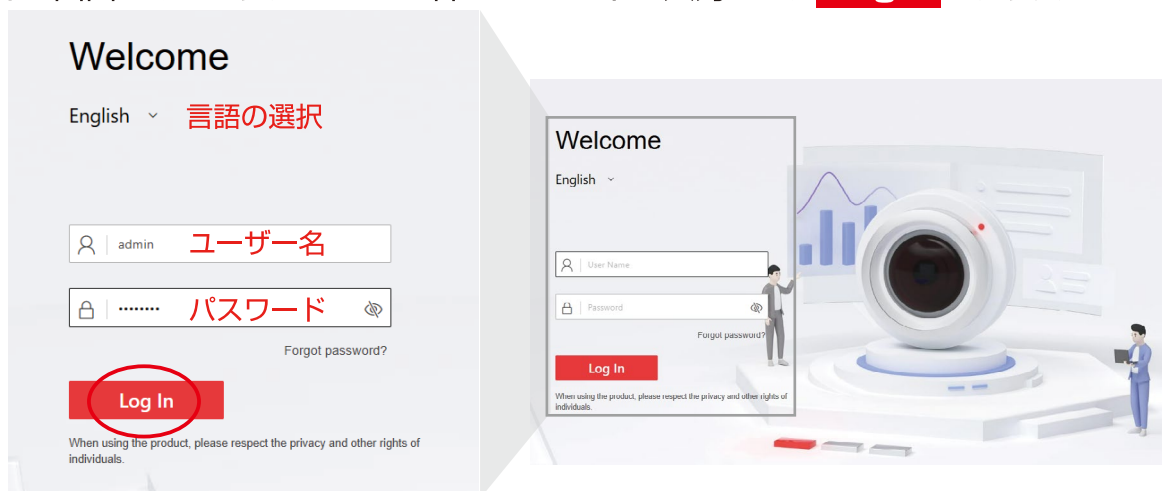
 192.168.11.168

または、**SADPツール**のリストからIPアドレスのところをダブルクリックすれば、既定のブラウザで起動します。

☐	005	IPC-B1623IZ	Active	192.168.11.168	8000	N/A	V5.7.3buil...
--------------------------	-----	-------------	--------	----------------	------	-----	---------------



2. ログイン画面になります。ユーザー名とパスワードを入力して、**Login** をクリックしてください。

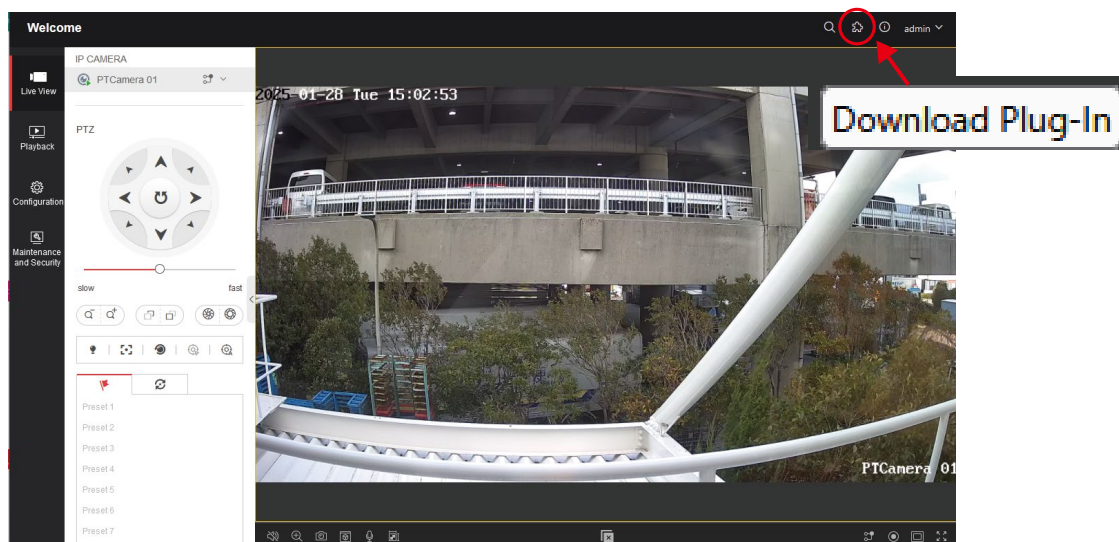


初回起動時およびユーザーを設定していない場合は、ユーザー名は“ admin ”で入力してください。



管理ユーザーがパスワード入力に7回失敗すると IPアドレスはロックされます。
(ユーザー /オペレータの場合、5回)

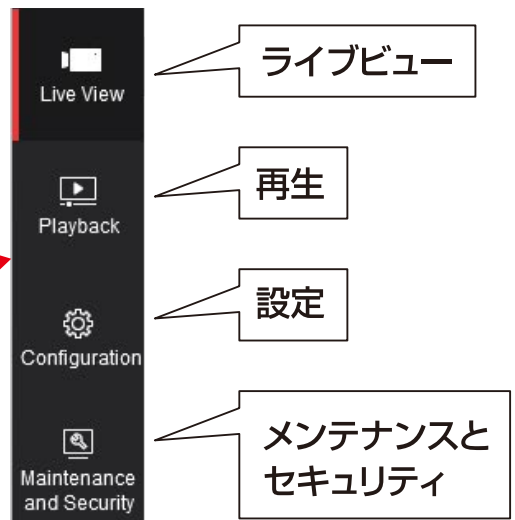
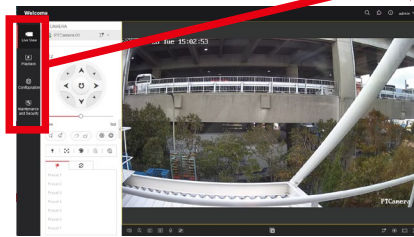
3. ログインするとブラウザにIPカメラのライブビュー画面が表示されます。



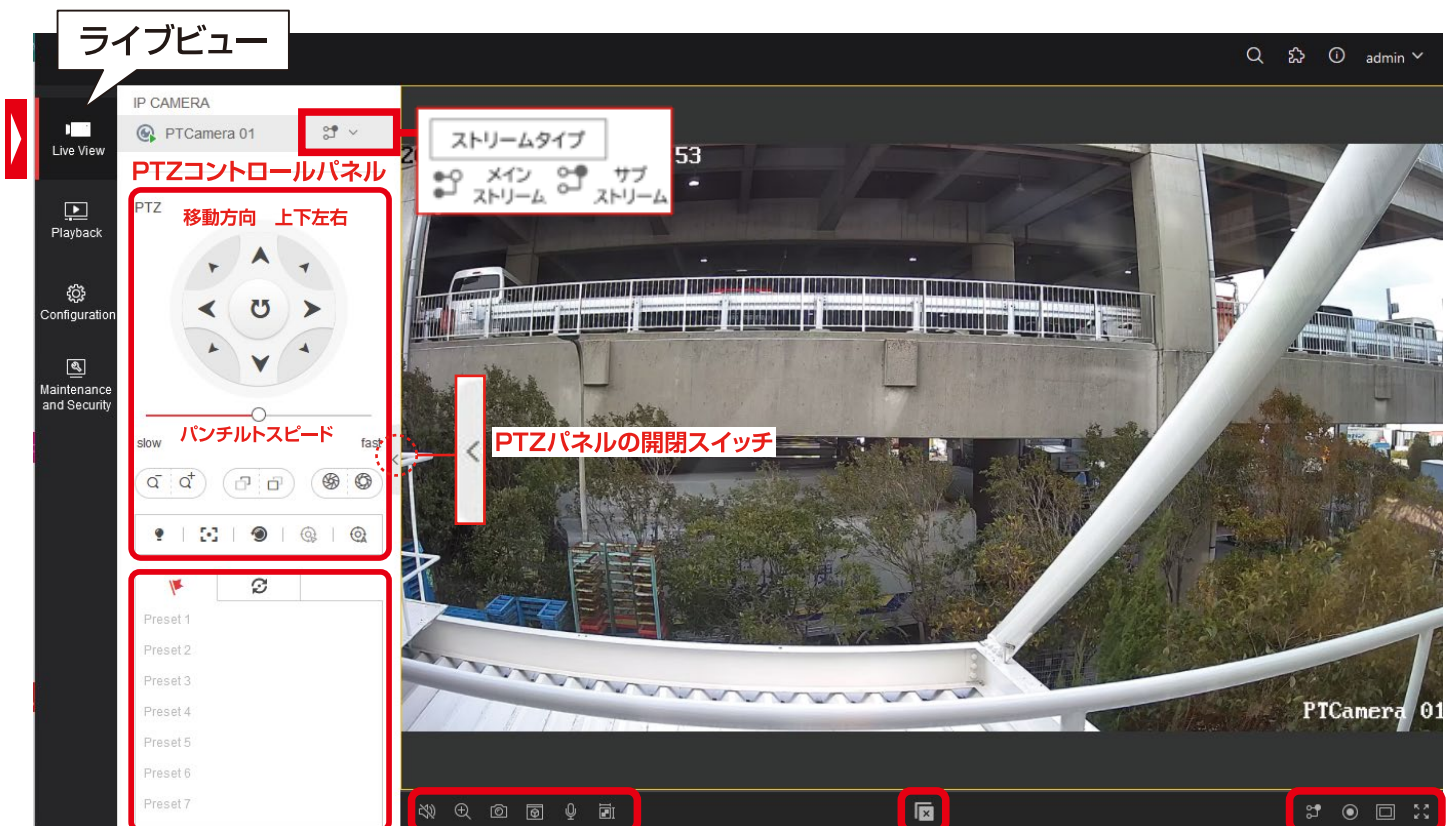
ライブビュー画面で画像が表示されない場合は、プラグインをダウンロードし（画面右上の  をクリックしてください）ブラウザを閉じた後インストールし、再度ブラウザ画面にログインしてください。

ブラウザ画面からの設定

ブラウザ画面、左側のタブで表示ページを選択します。
ブラウザで表示される画面は、IPカメラの機種により異なります。
表示されないタブ、メニューや設定項目があり、また、画面内のボタン等も動作しないことがあります。



ライブビュー [Live View]



音声ミュート・音量調整 ミュート 音量調整

デジタルズーム開始・停止 開始 画像をドラッグ

キャプチャー※1 キャプチャーシャッター

プラグインスイッチ ウェブコンポーネント MPEG

双方向オーディオ オフ オン

ピクセルカウンター 開始 画像をドラッグ

Width 437 px Height 196 px

ライブビュー停止・開始 停止 開始

ストリームタイプ メインストリーム サブストリーム

録画開始・停止※1 開始 停止

アスペクト比率 4:3 16:9 元の比率 自己適応

フルスクリーン フルスクリーンのオンオフ

※1) ConfigurationのLocal→Picture and Clip Settingsで、指定したフォルダにファイルが保存されます。



マイクロSDカードを使用するには、カメラ本体でSDカードをフォーマットします。
(ConfigurationタブのStorage→Storage Management→HDD Managementで設定します)
その後、Schedule Settings → Record Schedule を設定し、Enable を ON  にしてください。

再生 [Playback]

ビデオ(Video)タブでは、マイクロSDカードに保存されたビデオファイルの閲覧やキャプチャー、ダウンロードなどすることができます。



Video

再生

日付を選択して **Search** をクリックします

録画ファイルのある日に **▲** マークがつきます

音声ミュート・音量調整

50

画像のキャプチャー

デジタルズームの開始・停止

ビデオファイルのクリップ開始・停止

01:45:56

停止 タイムコード 一時停止 スピードダウン スピードアップ

再生 コマ送り(1フレーム)

ファイルのダウンロード (別ウィンドウが開きます)

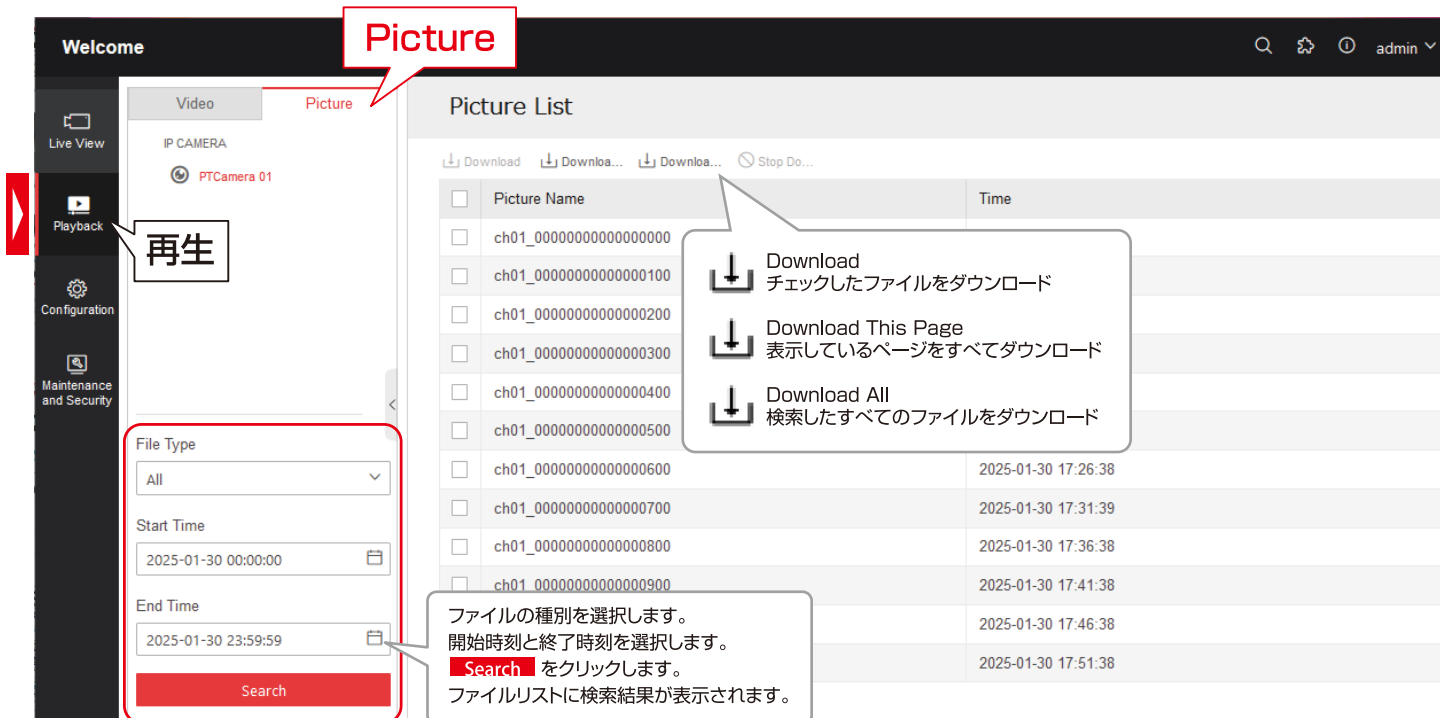
全再生の停止

24h

マウスでドラッグすることで、再生時間を探せます。右下の ・ で時間軸の拡大・縮小が出来ます。バーの色は、ビデオ種別を示します。

画像 [Picture]

画像 (Picture) タブでは、マイクロ SD カードに保存されている画像を検索し、そのファイルをダウンロードすることができます。(ConfigurationタブのStorage→Schedule Settings→Picture Capture タブで設定します)



Picture

再生

File Type: All

Start Time: 2025-01-30 00:00:00

End Time: 2025-01-30 23:59:59

Search

Picture List

Download Download... Download... Stop Do...

Picture Name Time

ch01_000000000000000000

ch01_0000000000000000100

ch01_0000000000000000200

ch01_0000000000000000300

ch01_0000000000000000400

ch01_0000000000000000500

ch01_0000000000000000600

ch01_0000000000000000700

ch01_0000000000000000800

ch01_0000000000000000900

2025-01-30 17:26:38

2025-01-30 17:31:39

2025-01-30 17:36:38

2025-01-30 17:41:38

2025-01-30 17:46:38

2025-01-30 17:51:38

Download
チェックしたファイルをダウンロード

Download This Page
表示しているページをすべてダウンロード

Download All
検索したすべてのファイルをダウンロード

ファイルの種別を選択します。
開始時刻と終了時刻を選択します。
Search をクリックします。
ファイルリストに検索結果が表示されます。

設定 [Configuration]

設定タブでは、基本的な設定のほかネットワーク設定やイベントや録画の設定、画質設定などすることができます。左の項目をクリックすると右側に各設定項目が表示されます。

設定値を変更した場合、下部の **Save** をクリックして内容を保存してください。

ただし、機種により対応するメニュー・設定値が異なることがあります。

The screenshot shows a web-based configuration interface for a camera. On the left, a dark sidebar contains a '設定' (Settings) menu with a red arrow pointing to the 'Configuration' option. The main content area is titled 'Welcome' and features a top navigation bar with tabs for 'Video', 'Image', 'OSD Configuration', and 'Time Settings'. The 'Video' tab is active, displaying various settings: Stream Type (Main Stream), Resolution (2560*1440), Bit Rate Type (Variable Bit Rate), Picture Quality (Medium), Video Frame Rate (20), Max Bit Rate (3072 Kbps), Video Encoding (H.265), H.265+ (Off), Profile (Medium), and I-Frame Interval (50). A red 'Save' button is located at the bottom of the settings area.

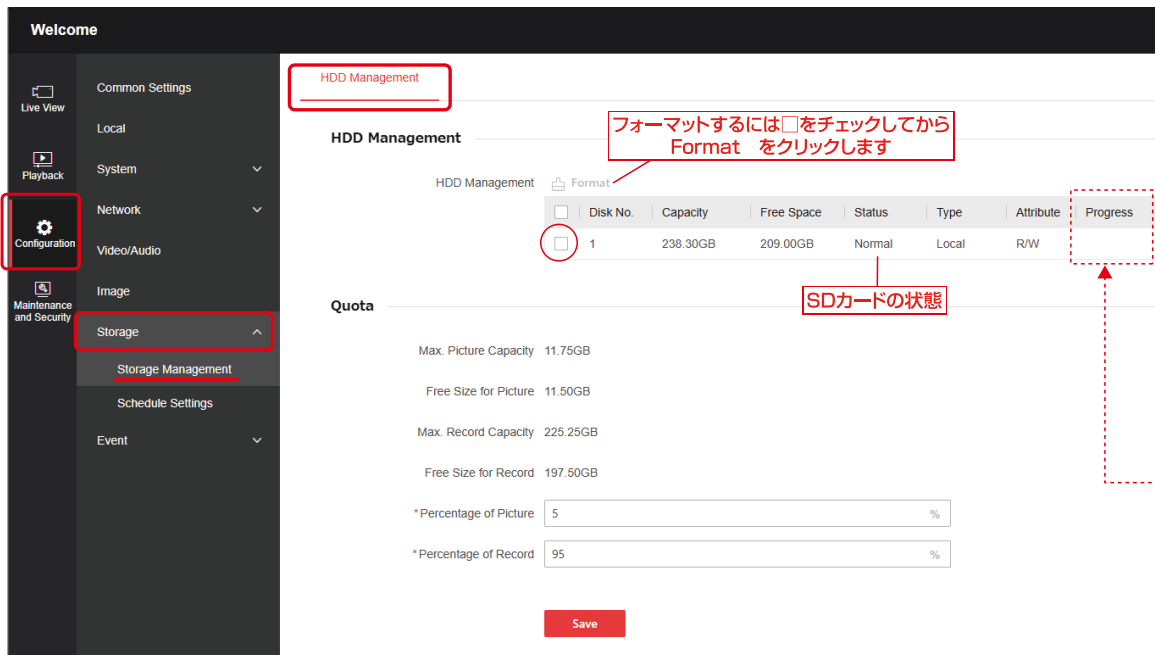
項 目		説 明
Common Settings	共通設定	カメラ基本設定（ビデオ、画像、OSD設定、時間設定）
Local	ローカル設定	クリップファイルおよびキャプチャファイルの保存場所などのローカルな設定
System	システム設定	デバイス名やシリアル番号、日時設定など基本的な設定、ユーザー管理（アカウント管理、パスワードの設定など）などを設定
Network	ネットワーク設定	TCP/IP、DDNS などネットワーク設定、HTTP、RTSP などパラメータの設定の他、ガーディングビジョン（Guarding Vision）の有効化設定など
Video/Audio	ビデオ・音声設定	ビデオ設定（メイン/サブストリームの設定）、オーディオ設定、ROI（関心領域設定）を設定
Image	画像設定	ディスプレイ設定（輝度、コントラスト、彩度、シャープネスなど画質設定や露出設定、デナイト切替など）、OSD 設定（カメラ映像上にオーバーレイする文字の設定）、プライバシーマスク（見せない領域の設定）および画像オーバーレイを含む画像パラメータの設定
Storage	ストレージ設定	SD カードのフォーマットや録画スケジュールやキャプチャスケジュールの設定など
Event	イベント設定	基本イベント（動体検知、トリガー、タンパリング）やスマートイベント（顔検知、エリア侵入、ライン横断など）の設定とアラーム、通知等（FTP,e メール送信、監視センター通知など）のアラーム設定

※各項目ごとに複数ページの設定がある場合があります。（タブになっている場合もあります） 設定値の保存 (Save) は、ページ毎に実施してください。

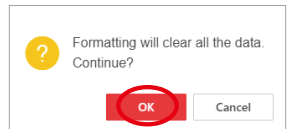
※詳細は、それぞれの機種ごとにブラウザでアクセス頂き、ご確認ください。

SDカードのフォーマット

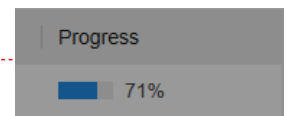
SDカードの状態確認やフォーマットをするには、設定 (Configuration)→ストレージ (Storage) の **Storage Management** の **HDD Management** の項目欄で設定します。(SDカード挿入時に自動的にフォーマットされる場合もあります)



以下がポップアップします。
「すべてのデータが消去されますが、続けますか？」

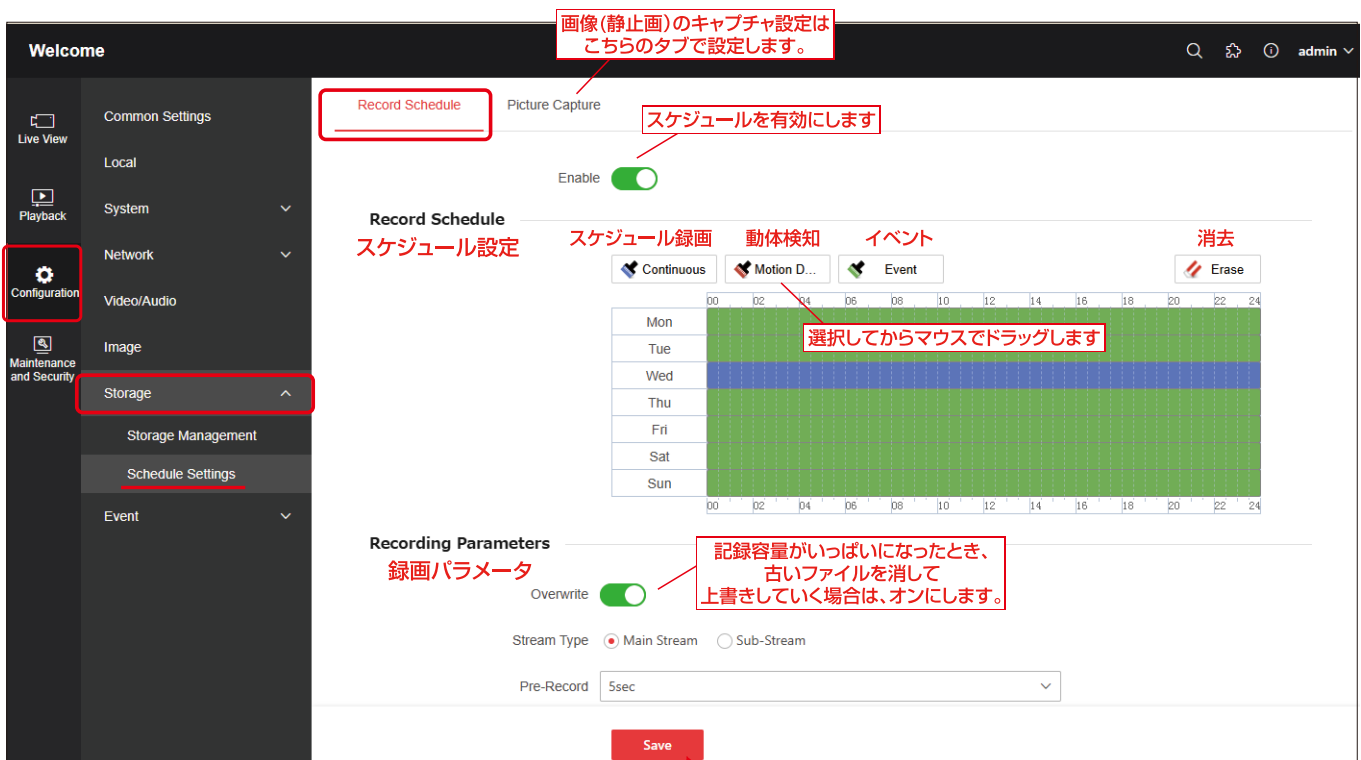


OK をクリックすると、フォーマットが始まります。フォーマット中は進捗が表示されます。



SDカード録画の設定

SDカードの記録の設定をするには、設定 (Configuration)→ストレージ (Storage) の **Schedule Settings** の **Record Schedule** の項目欄で設定します。

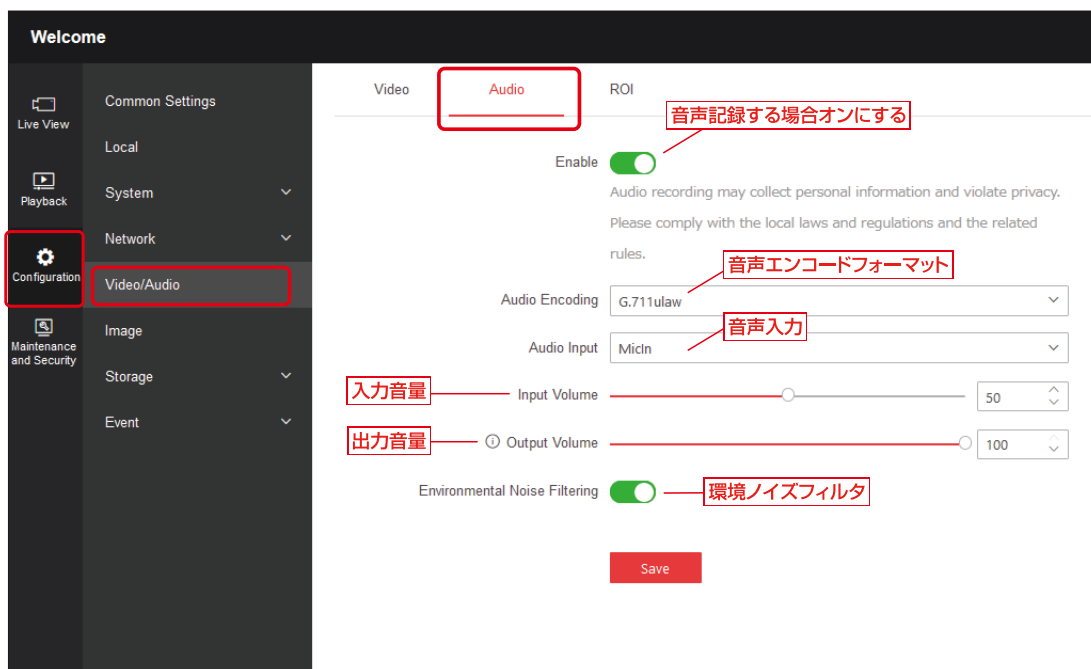


変更したら、最後に **Save** をクリックします

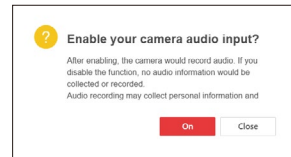
音声記録の確認

音声を記録する場合、以下の設定で音声記録が有効になっているかを確認ください。

設定（Configuration）→ビデオ/オーディオ（Video / Audio）の **Audio** タブで設定します。

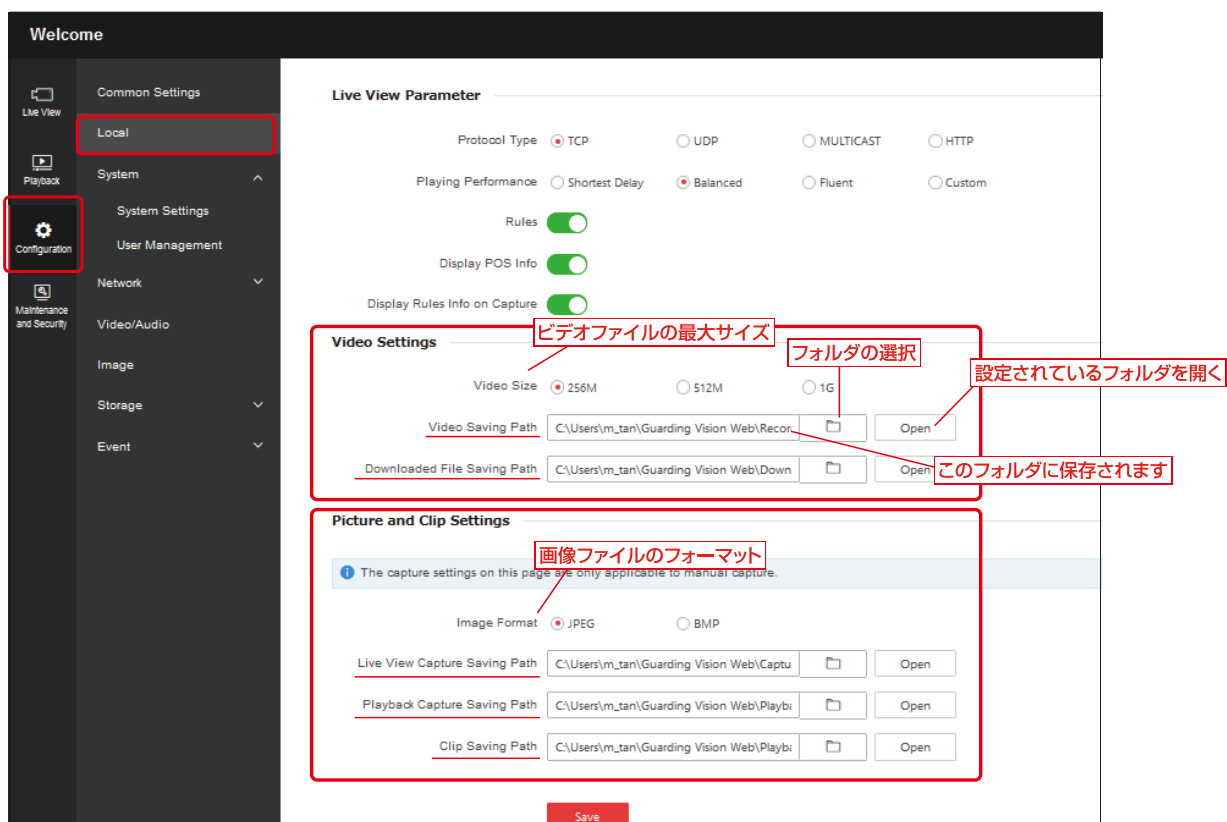


初回、ログイン時の以下のメッセージの際に On を設定していれば、不要です。



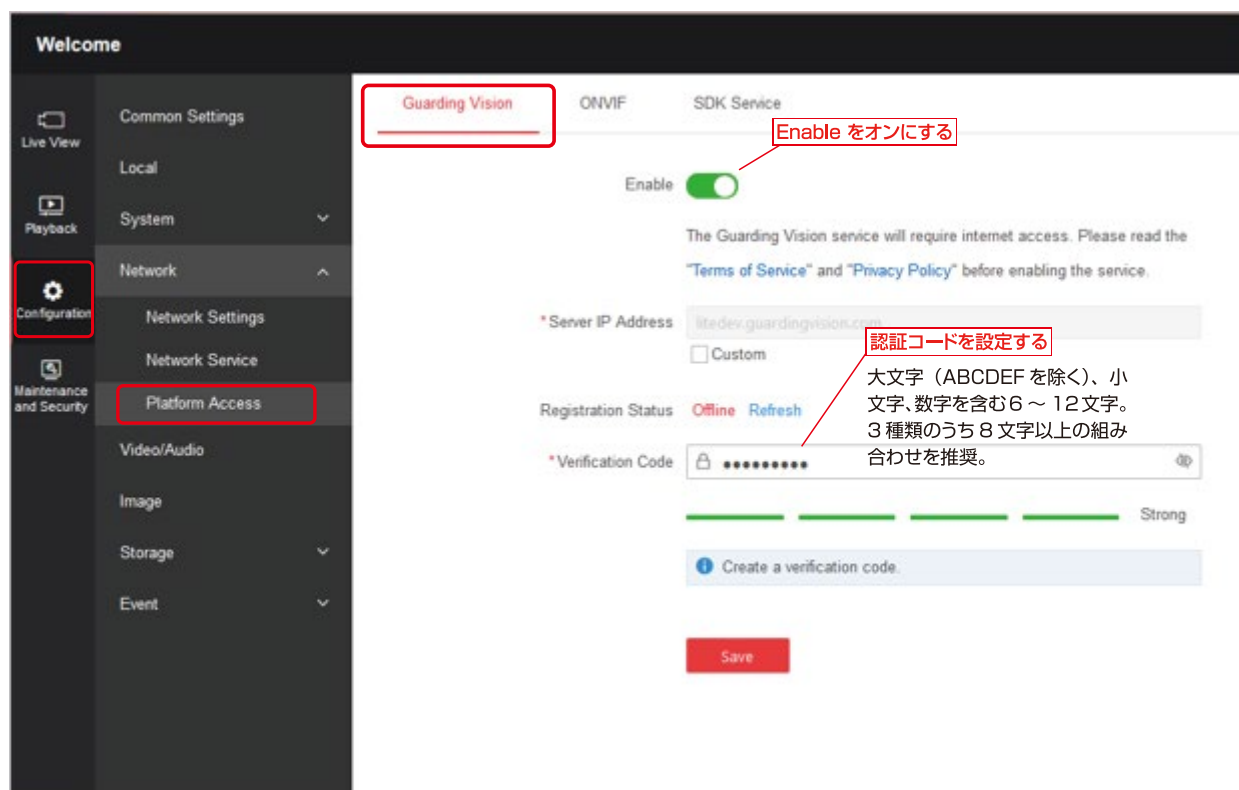
ブラウザで操作したファイルの保存場所

ライブビュー画面等で、映像の録画（ビデオファイルのクリップ）や画像のキャプチャーを実施した場合に保存されるディレクトリを設定します。設定（Configuration）→ローカル（Local）の **Video Settings** および **Picture and Clip Settings** の項目欄で設定します。



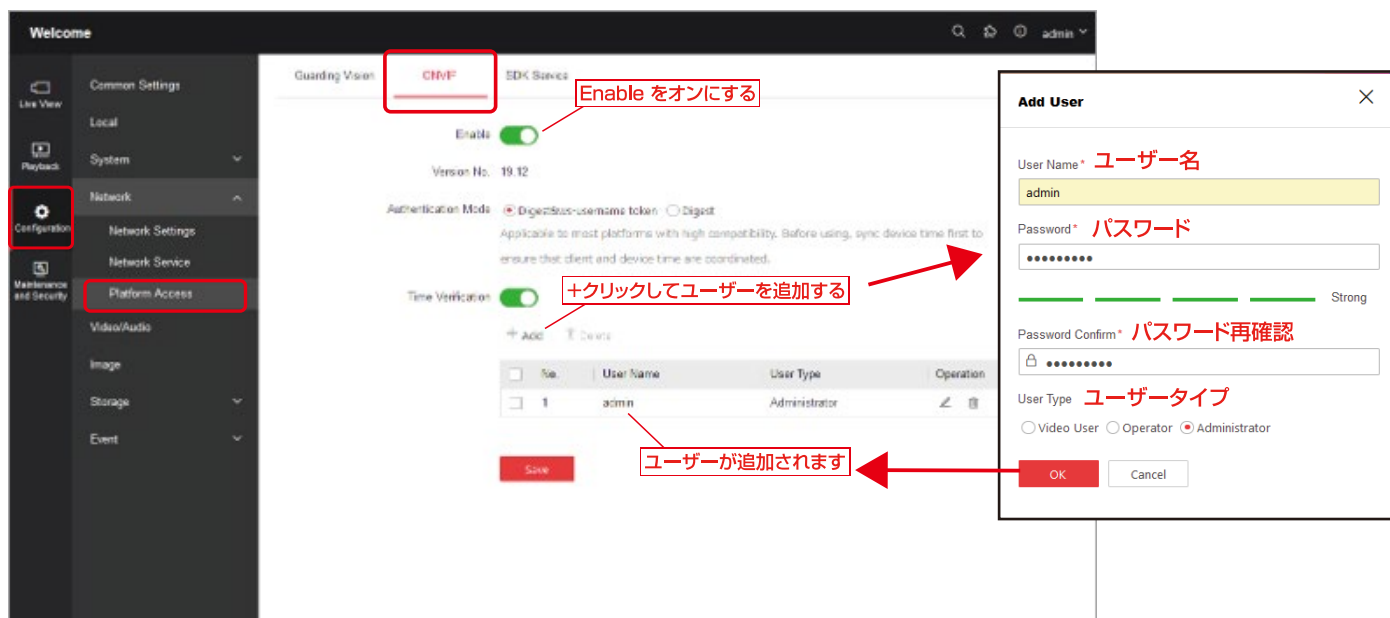
Guarding Visionでのアクセス設定

Guarding Vision アプリからアクセスするには、ブラウザで Guarding Vision を有効にし、認証コードを設定する必要があります。認証コードは、Guarding Vision アプリに初回、接続時に要求されます。設定 (Configuration)→ネットワーク (Network) →プラットフォームへのアクセス (Platform Access) の Guarding Vision タブで設定します。



ONVIF プロトコルで接続する設定

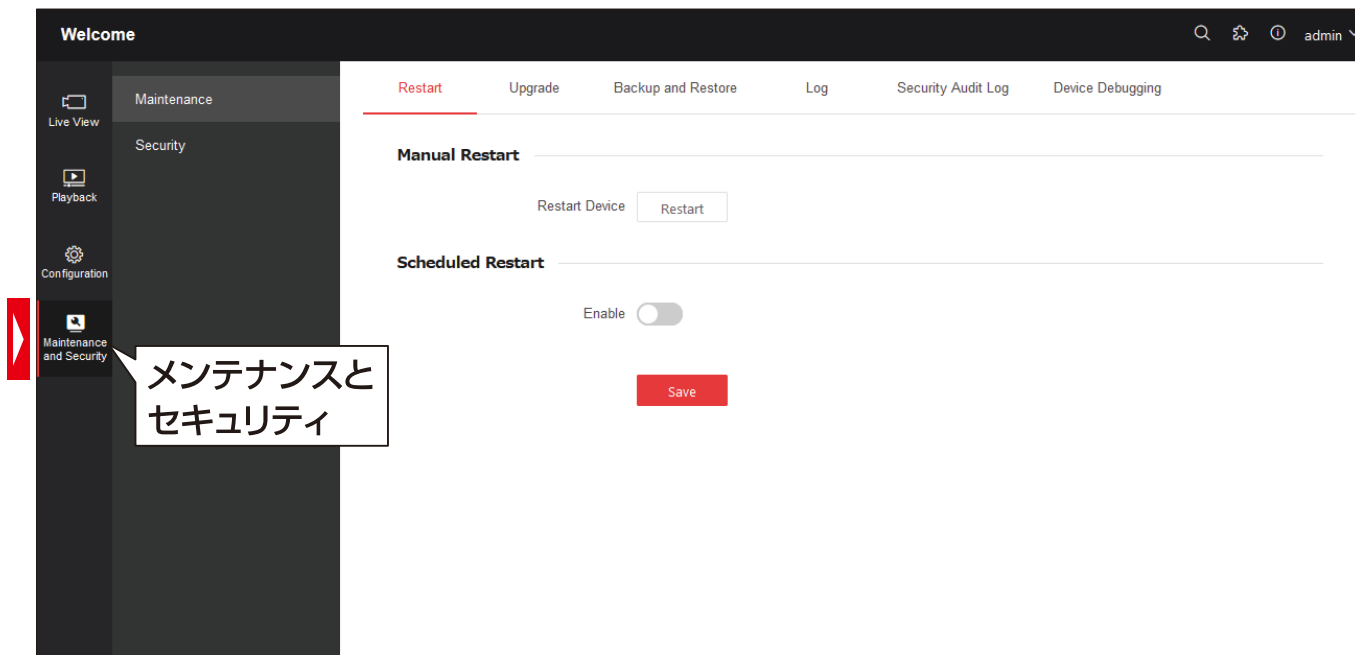
ネットワークレコーダーから ONVIF プロトコルでアクセスするには、ONVIF を有効にし、ユーザーを設定する必要があります。設定 (Configuration)→ネットワーク (Network) →プラットフォームへのアクセス (Platform Access) の ONVIF タブで設定します。



メンテナンスとセキュリティ [Maintenance and Security]

メンテナンスとセキュリティタブでは、再起動やアップグレード、ログの確認などメンテナンスに関する設定とログイン時の制約やTLS設定などセキュリティに関する設定をすることが出来ます。

ただし、機種により対応するメニュー・設定値が異なることがあります。

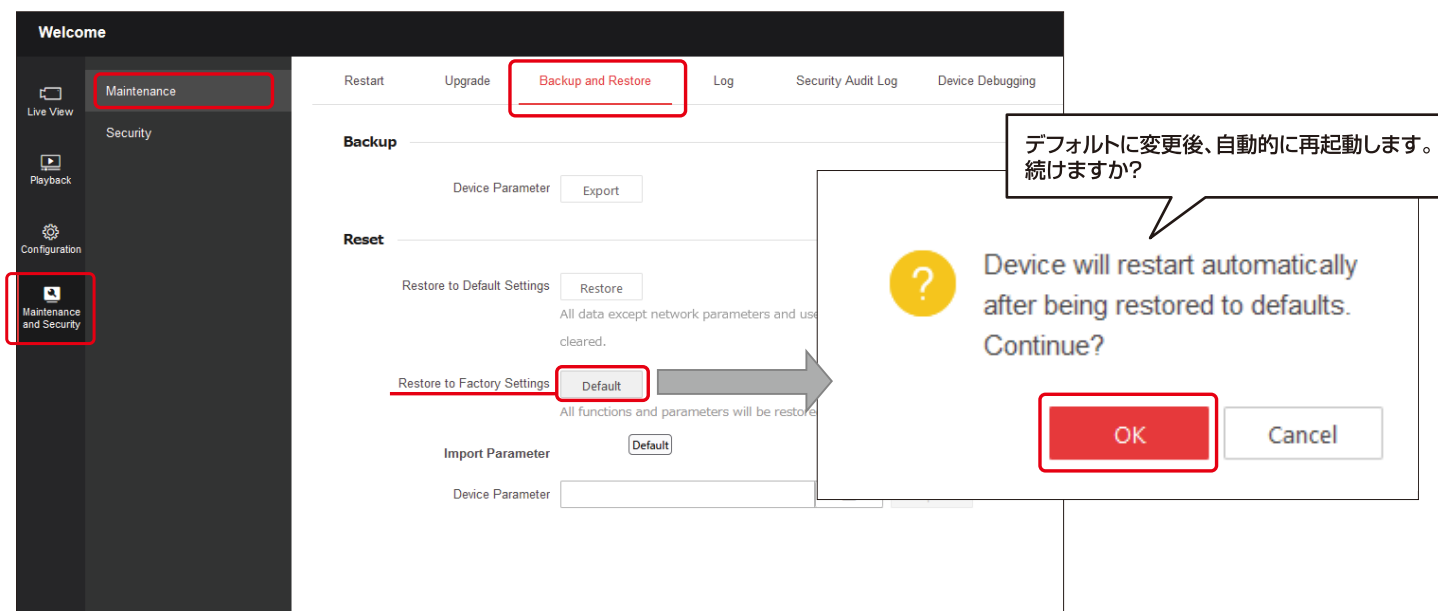


項 目		説 明
Maintenance	メンテナンス	再起動、バックアップ、リセット、ログ管理や診断情報を得ることが出来ます。
Security	セキュリティ設定	ログイン失敗時の回数設定などログイン設定とTLSの設定が出来ます。

工場出荷状態にリセットするには

メンテナンスとセキュリティ (Maintenance and Security)→メンテナンス (Maintenance)→バックアップとリストア (Backup and Restore) タブを選択し、リセット (Reset) の Restore to Factory Settings の Default ボタンをクリックします。確認画面がポップアップしますので、OK をクリックします。

その後、数分後に自動的に工場出荷状態にリセットされ再起動します。



PCやスマホから遠隔監視の設定

ネットワーク遠隔監視は、Guarding Vision というアプリを利用して、IP カメラにアクセスし、離れた場所からリモートアクセスが可能になります。

本システムの動作は、PC やスマートフォンの性能、ネットワークの環境などに大きな影響を受けます。PC やスマートフォン、ルーターなどの取扱説明書も合わせてご確認ください。

スマートフォンでのご利用 …………… お使いのアプリストアから
Guarding Vision を検索してください。



PC (Windows) でのご利用 …………… 下記URLより Guarding Vision をダウンロードしてください。

<https://e-camera.net/>

遠隔監視に登録する前に

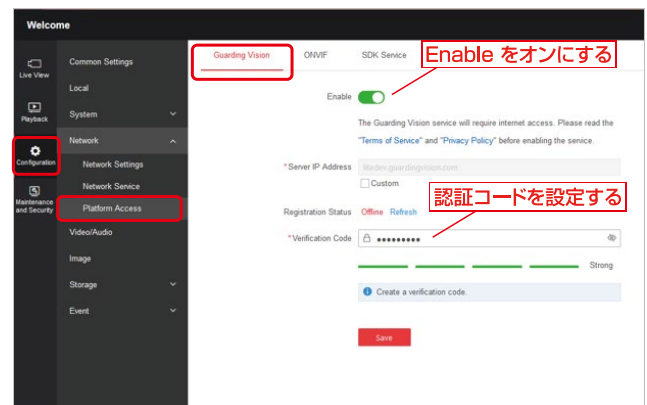
カメラに Guarding Vision アプリからアクセスするには、ブラウザで Guarding Vision を有効にし、認証コードを設定する必要があります。

設定 (Configuration)

→ ネットワーク (Network)

→ プラットフォームへのアクセス (Platform Access)

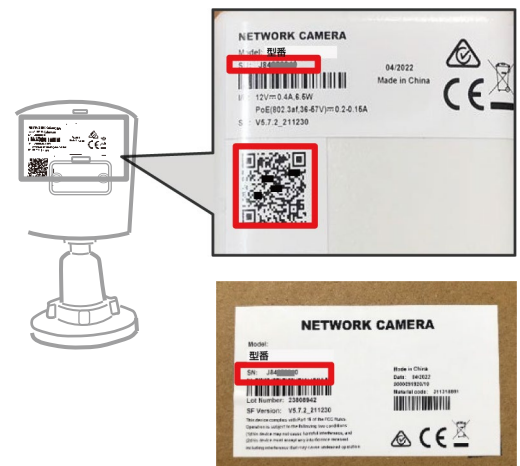
Guarding Vision タブで設定します。



Guarding Vision アプリに登録をする場合、カメラ本体ラベルにある **QR コード** または、**シリアル番号** が必要になります。QR コードでの登録が容易ですが、手動追加でシリアル番号を入力して登録することも可能です。

シリアル番号は、梱包箱のラベルにも記載されています。

設置する前（カメラが手元にある時点）に登録することをお勧めします。



カメラをすでに設置済みでQRコードの確認が困難な場合

QR コードは、カメラ本体にのみ表示されているので、設置後で QR コードをスキャンできない場合は、手動追加でシリアル番号で登録してください。シリアル番号は、SADP ツールを用いて、シリアル番号を確認します。

SADP ツールの画面を右スクロールし、**Device Serial No.**

を表示します。表示されている英数字の後ろから

9桁（英字+8桁数字） がシリアル番号です。



ここでは、スマートフォンを使用する場合の説明をします。

スマートフォンからの遠隔監視

デバイスの登録

スマートフォンにGuarding Visionをインストールしてアカウントを登録し、デバイスを追加する手順になります。

はじめて登録する場合



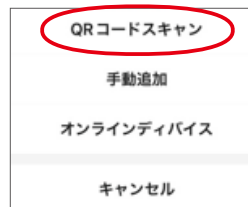
1. Guarding Visionアプリを起動します。地域を選択しサービス利用規約を確認し、同意する をタップします。



2. メールアドレスまたは電話番号とパスワードで、アカウントを登録します。



3. デバイス追加 をタップし、QRコードスキャンを選択します。



4. カメラ本体のラベルにあるQRコードをスキャンします。



5. QRコードがスキャンされるとデバイスの種類の選択になりますので**カメラ(有線)**を選択します。



6. カメラをネットワークに接続されていることを確認し、**追加**をタップします。



7. デバイスの認証コードを求められましたら、**ブラウザで設定した認証コード**を入力ください。



▲この画面が表示された場合は、カメラでGuarding Visionが有効になっていません。ブラウザでアクセスして有効に設定して下さい。



8. 追加されるとかカメラの品番とシリアル番号が表示されますので確認ください。

以上で、追加設定は完了です。ホーム画面に戻ってデバイスを確認ください。

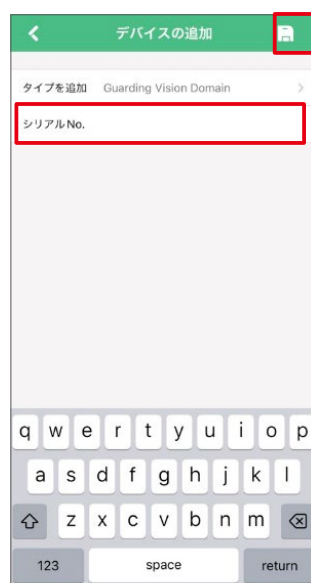
2台目以降登録する場合



ホーム画面右上の **+** をタップし、選択バーからQRコードスキャンをタップします。

前ページの **4. のQRコードスキャン画面**が開きますので、以後同様の手順です。

シリアル番号で登録する場合



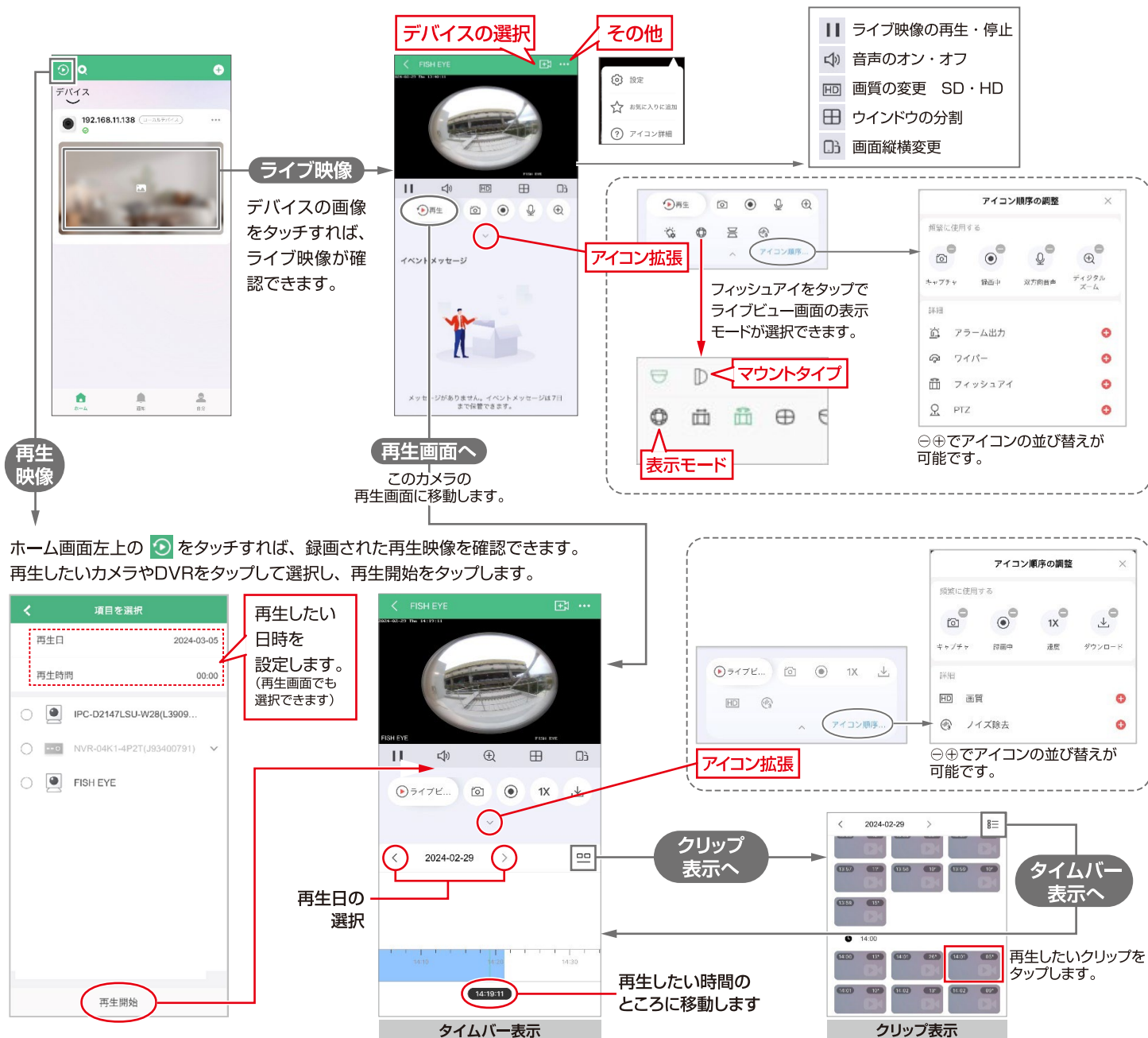
QRコードスキャン画面の右上の **+** をタップします。

または、ホーム画面右上の **+** をタップし、**手動追加** をタップします。

シリアル番号を入力し、画面右上の **+** をタップします。

前ページの **5. のデバイスの種類の選択画面**が開きますので、以後同様の手順です。

映像の確認

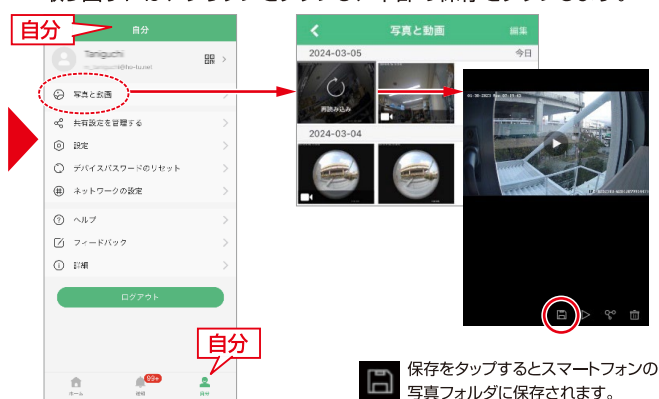


スマートフォンにビデオファイルをダウンロードするには

上記、再生画面で、保存したいクリップを選択します。アイコンの をダウンロードをタッチして、現在のクリップが一括ダウンロードを選択します。



保存したファイルは、**詳細 → 写真と動画** で確認できます。取り出すには、クリップをタップし、下部の保存をタップします。



安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

	一般的な注意事項		一般的な禁止事項		水ぬれ禁止		機器の分解禁止		接触禁止		ぬれ手禁止		指示を守る
--	----------	---	----------	---	-------	---	---------	---	------	---	-------	---	-------

警告 誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど重大な結果に結びつく可能性があるもの



異常があるときは、すぐに使用をやめる

次のような異常時は、放置せずに電源を切り、販売店・工事店に連絡してください。

- ◇煙がでる、においがする
- ◇内部に水や物が入った
- ◇画面が映らない
- ◇接続ケーブルや外部が劣化

火災、感電、けが、故障の原因となります。



指定の電源電圧で使用する

ACアダプタ電源使用の場合は必ずDC12Vで使用してください。

火災や感電の原因となります。



次の場所に設置しない

- ◇強度の不足する場所、不安定な場所
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- ◇人や車両の通行の妨げになる場所
ぶつかったり、接触してけがや破損の原因となります。
- ◇直射日光の当たる場所、熱器具の付近や高温になる場所、湿気やホコリの多い所
火災や感電、故障の原因となります。
- ◇塩害や腐食性ガスが発生する場所
取付部が劣化し、落下によるけがや事故、故障の原因となります。
- ◇可燃性ガスの雰囲気中
爆発によるけがの原因となります。



指定以外の機器・アクセサリは使用しない

指定品を確かめ、使用機器の取扱説明書もよくお読みください。

性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となります。



結露した状態で使用しない

故障の原因となります。

電源を止め、結露がとれた後に電源供給し直してください。



設置、点検時は次のことに注意する

- ◇設置・配線・点検時は電源を切ってから行ってください。
- 感電やショート・誤配線による火災の原因となります。
- ◇足場と安全を確保し、強風、雨、嵐、雪、霧などの天候が悪い日や暗い所では、危険です。設置工事や点検をしないでください。
- 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
- ◇本体や部品、工具類を落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- けがや故障の原因となります。
- ◇ケーブル類は正しく配置してください。
- 引っ掛けると落下や転倒によるけがや故障の原因となります。
- ◇組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力(トルク)指定がある場合はその力(トルク)で締め付け、堅固に固定してください。
- 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- ◇台風の後や積雪の後などは、取付装置に緩みや異常が生じることがあります。
- 点検はお買い上げの販売店または工事店にご相談ください。
- そのままにすると破損して、けがや故障の原因となります。
- ◇カメラや取付装置などに乗ったり、無理な力を加えないでください。
- 落ちたりして、破損、けがの原因となります。



無理な力を加えたり傷つけない

接続ケーブルなどを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものをのせたり、加熱したり(熱器具に近づけたり)、引っばったりしないでください。

電源ケーブル、LANケーブルなどが傷んだときは(心線の露出、断線など)お買い上げの販売店もしくは工事店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電などの原因となります。



ぬれた手でさわらない

感電の原因となります。



分解や改造はしない

内部の分解、改造や修理はしないでください。故障の原因となります。

内部の点検・調整・修理は、販売店にご相談ください。



雷が鳴り出したら本機や接続ケーブルに触れない

感電の原因となります。

注意 誤った取り扱いをすると、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があるもの



工事に関しては工事店などに依頼する

工事には技術と経験が必要です。

お買い上げの販売店や工事店にご相談ください。

火災、感電、けが、故障の原因となります。



定期的に点検する

取り付けがゆるんだり、取付装置やネジがさびると、落下による破損、けがの原因となります。